

## 非常食で作る栄養満点おにぎり

飯野小でアルファ化米を使った調理実習

10月19日、飯野小6年生が、防災教室の一環として、非常食として用いられるアルファ化米を使った調理実習に取り組みました。

尚綱大学の学生たちが指導する中、電気などが使えない災害時を想定して、水・お湯を注げば簡単に調理できるアルファ化米でごはんを炊飯。コーン、ツナ、ノリ、ゴマなど、1日に必要な栄養素をバランスよく取れる具材を入れ、おにぎりにしました。

児童たちは実習から食の楽しさと大切さを学びました。



1 ご飯と具材をよく混ぜる 2 おにぎり完成 3 ガブリ!



## いろいろな防災を体験して学ぶ

令和5年度町総合防災訓練

10月29日、令和5年度町総合防災訓練が、益城中央で行われました。

熊本地震や豪雨災害など、大きな被害を受けた災害を教訓に、地域の防災力向上を目的としたこの訓練は、コロナ禍の影響により3年ぶりの実施となりました。

今回の訓練では、防災関係17機関・団体の協力により、災害発生時に活躍する特殊車両や防災用品を展示。また、煙体験訓練・消火器操作訓練・浸水ドア体験など住民参加型の体験ブースを設置しました。

益城西原消防署と陸上自衛隊第42即応機動連隊による救出救助訓練では、倒壊した家屋に取り残された住民を救助するという想定で、実際にチェーンソーや担架などを使い、細心の注意を払いながら、手際よく救助を行いました。

参加した住民は、日頃体験できない訓練などを楽しみながら防災についての知識を深めました。

1 水消火器の操作訓練 2 3 消防車・警察車両・自衛隊車両などさまざまな特殊車両に乗車 4 町防災士連絡協議会会員による簡易ベッドの組み立て 5 浸水したドアはどんなに強く押してもなかなか開かない 6 煙体験訓練、前が見えない! 7 災害発生時に役立つ防災用品が保管されている防災倉庫 8 担架を使って速やかに救助を行う自衛隊隊員 9 倒壊家屋の屋根にチェーンソーで進入口を作る益城西原消防署救助隊員

Pickup Plus+  
今月のプラス



10月29日、地域版タイムライン作成研修が木山中体育館で行われました。この研修は、各地区の自主防災組織員や町職員が参加し、災害時に取るべき行動をあらかじめ決めておく「事前行動計画(タイムライン)」を作成するというもの。関係者が共通認識を図り、地域と行政が一体的に行動するためのタイムラインの作成に取り組みました。